

渦中のクナム丁場の現状！！

フレッシュマン・オカザキのインド通信

お世話になっております！

インド黒を代表する石、クナム丁場ですが、正直申し上げますと、あまり良い状況ではありません…。

昨年より問題になっている EC 問題(=Environment Clearance=環境規制)によりタミルナドゥ州全域、特にクナム丁場一帯が強く規制されており、3月2日現在、全てのクナム丁場が原石の出荷を禁止されています。今までは規制をかいぐる盗掘・深夜の出荷・賄賂などでなんとか回していましたが、現状は丁場同士が互いに監視し合っているような状態で、いよいよ一切出荷が出来なくなりましたようです。各丁場は州政府に抗議を続けていますが応じず、更に多額の賄賂を要求してきているようです。問題の収束に向けて各所動いていますが、最悪の場合には更に長期化する事も考えられます。

現在、情報の収集に努めておりますが、ご発注頂いているお客様には大変ご迷惑をお掛けしております。大変申し訳ございません。

代替え石種などの対策を可能な限り早くご提案出来るよう手配しておりますので、情報の更新をお待ち頂ければと思います。

クナムは不安定な状況が続いておりますが、その他のアーバングレーやロイヤルブラウン、安価な黒御影、副丁場M1-Hなどは中国の新単価と比べてお求めやすい単価が出せるかと思っておりますので、是非一度お問い合わせ下さい。

～丁場紹介～

クナム丁場一帯の問題は深刻化していますが、その他の地域・州でも値上げが一部見られました。そこで、今回はアーバングレーの代替え石種である、**カーリーナブルーをご紹介します！**

中国ではアーバン K や新アーバン、インドではアーバンブルー(UB)等と呼ばれています。

採掘を開始して4年ほどの歴史の浅い丁場ではありますが、非常に安定して大きいブロックが取れます。改めて考えて、**単価面・ブロックの大きさ・品質・丁場の協力度合など総合的に考えてダントツに良い丁場と言えます。**目合いの好き嫌いはあると思いますが、非常にお勧めです。





↑ 8~10 立米はありそうなブロック。
指定に応じて割る事が出来ます。

銘石アーバングレーやロイヤルブラウンなど同系統の目合いを持つカーリーナは、まさにインドグレー系石種のサラブレッドです。アーバングレーが質実剛健な男性的イメージとすれば、優しい色目のこの石はどちらかと言うと女性的。

色目の優しさだけでなく、吸水の少なさや硬度を併せ持つまさに才色兼備な 絶世の美女と言えるでしょう！

http://japan-stone-center.jp/stone_india/kareena/index.html

↑ 弊社のホームページでも詳しく紹介しているので是非ご覧ください！

日系企業初のマンション開発、「クリスミシティ」スタート！

近年の急速な経済発展に伴い、中流階級が拡大しています。住宅需要も今後一層高まると見込まれるインドですが、住友商事が日系企業として初めてマンション開発・分譲事業に参画するようです。

タッグを組むのはクリシュナグループという地場企業で、これまでに日本発条や TEIJIN などの日系企業のインド進出をサポートしている巨大グループです。このプロジェクトにも日本の高い品質や管理手法を導入するため、住友商事を事業パートナーに選出したようです。住友商事は「大規模複合開発や 50 年以上にわたるマンション分譲事業の実績をもとに、プロジェクト全体のマスタープランや住戸プランの検討に協力すると共に、日本流の工事監理、販売・建物管理手法等の実現を目指す」と発表しています。

住友商事・クリシュナグループは早速在インドの事業会社 Krisumi Corporation Private Limited(通称:クリスミ)を設立し、インド北部ハリヤナ州グルグラム市(グルガオン)において「クリスミ・シティ」プロジェクトを推進していきます。グルグラムは首都デリーの近郊都市で、数多くの外資系企業がオフィスを構える経済発展都市として有名です。特にサイバーシティというビジネスエリアには google や IBM といった有名外資系企業もあり、これからのインド内の都市で一番の成長率が期待されています。また、富裕層が多く住んでいることから治安もよく、日本人にとっても住みやすい環境でわずか 4 年で 2011 年の人口 80 万人から 2017 年の人口 260 万へと 3 倍以上に増加しています。

このプロジェクトは、約 26 ヘクタールの敷地に住宅約 5,000 戸と商業施設、オフィスビルを全 8 期にわたり建設する計画で、グルグラムでも最大級の大規模開発

です。建設予定地は、ニューデリー中心から南西約 30 キロメートル、インディラガンジー国際空港から南西約 18 キロメートルに位置し、ニューデリーとグルグラムを結ぶ主要幹線道路である国道 8 号線に近接しています。

プロジェクト第1期は、約 21,600 平方メートルの土地に総事業費約 160 億円で 35 階建てのマンション 2 棟(約 433 戸)を建設するようです。完成予定は 2021 年。

全工期終えた完成予定がこちらです。↓



こ、これがインドとは到底思えません。。。特に私が行くチェンナイやバンガロールなどの南部の都市は北部の都市ほど発達していませんので、高層ビルはそこまで多くありません。

住友商事は、インドの他にもインドネシアや中国にて住宅開発プロジェクトを推進中で、アジア地域での新たな住宅開発を展開していくようです。

世界の発展に日系企業が貢献していると思うと、とても嬉しいニュースですね！

それでは今月はこの辺で失礼いたします。

最後まで読んで頂き、有難う御座いました！

2018/03/01

オカザキ